

クリアランス資源の普及に関する提言書

私たちは原子力発電所の廃炉作業で生まれるクリアランス資源を普及させていきたいと考えている。廃炉作業の進行やリサイクルという観点からも、制度周知のための活動やクリアランス資源をより身近に感じることができる取り組みについて考えた。加えて、クリアランス資源をきっかけに次世代層が福井県にこれまで以上に興味や愛着を持ってもらえるような取り組みについて考えた。

それらのことについて、以下のとおり提言する。

1 クリアランス資源の利活用を通じた産業の創出

リサイクルという点から SDGs の目標に合致するとともに、全国に先駆けたクリアランス資源の利活用が県民の誇りにもつながることから、福井県が中心となってクリアランス資源の利活用を広め、地域経済の活性化を図ること。

2 高校生を対象としたものづくりの場の提供

クリアランス資源の利活用にあたっては、クリアランス素材が生活の中に馴染み、より身近なものになるとともに、福井県全体の探求心や学力の底上げにもつなげていく観点から、高校生が地域や学校の垣根を超えて「ものづくり」の素材として使う機会を創出すること。

3 電源三法交付金の使途

福井県、特に嶺北地域に住む次世代層に対し、電源立地地域における交付金の意義や利益の享受に関する意識醸成を図るとともに、地場産業として電力を意識する契機とするため、上記 1、2 の活動に対し電源三法交付金の一部を使用すること。

4 “電気”の PR 材料化

全国最多の原子力発電所が立地し、国策であるエネルギー政策を担う県としての誇りを県民に意識づけ、「電気」を本県の名産品として県内外に PR すること。

令和 5 年 8 月 1 日

福井県知事 杉 本 達 治 様

福井南高等学校

チーム「Mama's Bank Account」

内 田 春 奈

清 水 虎太朗

鈴 木 葵

西 田 杏 乃